

野菜の生育状況及び価格見通し（令和7年4月）について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格（卸売価格）の見通し（令和7年4月）について、主産地等からの聞き取りを行いましたので、その結果を公表します。

1. 背景

近年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、産地の出荷判断と消費者の購買行動の最適化を促し、野菜の供給及び価格の安定に寄与することを目的として、平成23年より、野菜の生育状況や価格の見通しについて、主産地、卸売会社等からの聞き取りを行っております。

今回、聞き取り結果に基づく、令和7年4月の野菜の生育状況及び価格の見通しを次のとおり公表します。

なお、2020年基準消費者物価指数によると、令和7年2月の総合の指数は110.8、食料の指数も124.1と上昇傾向にありますが、本プレスリリースについては、主産地、卸売会社等からの聞き取りをもとに過去5か年平均を基準として作成しておりますこと、ご注意ください。

2. 概要

令和7年4月は、果菜類（きゅうり、なす、トマト、ピーマン）やほうれんそう、レタス等が平年並みの価格で推移する見込みです。また、高値傾向で推移していただいこん、はくさい等も徐々に平年並みの価格に近づく見込みです。

「野菜を食べよう」プロジェクト

農林水産省では、野菜の消費拡大を推進するため、「野菜を食べよう」プロジェクトを実施しています。

野菜はビタミンやミネラル、食物繊維等が豊富に含まれており、毎日を健康で元気に過ごすために欠かせない食材です。

皆さんもご自宅等で野菜をたっぷり使った料理をお楽しみください。

詳細は次のURLをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/2ibent.html>



なすとトマトのパスタ



ブロッコリーごま和え

また、「令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ」、「cookpad 農林水産省のキッチン」、「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」でも野菜のレシピを紹介していますので、是非ご覧ください。

令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/aftercovid19/1.html>
「cookpad 農林水産省のキッチン」
<https://cookpad.com/kitchen/11469357> (外部リンク)

「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」
https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00046.html (外部リンク)

3. 主要な野菜の生育、出荷及び価格の見通し

品目	主産地 ()書きは 令和6年 4月の入荷 シェア	今後の生育及び出荷見通し	4月の価格見通し (平年(直近5か年平均) 比)
だいこん	千葉(79%) 茨城(11%)	神奈川県産の出荷が減少し、千葉県産主体の出荷となる。 千葉県産の生育は順調であり、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
にんじん	徳島(79%)	千葉県産の出荷が減少し、徳島県産主体の出荷となる。 千葉県産は12月から2月の少雨の影響により出荷数量が少なく、切り上がりが早まっている。 徳島県産の生育は順調。 全体として、4月前半の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移し、4月後半の出荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	<4月前半> やや平年を上回って推移 <4月後半> 平年並みで推移
はくさい	茨城(98%)	茨城県産は秋冬作の残量が少なく、切り上がりが早まった。春作の生育は順調であり、月半ばにかけて春作の出荷数量の増加が見込まれる。 全体として、4月前半の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移し、4月後半の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	<4月前半> やや平年を上回って推移 <4月後半> 平年並みで推移

キャベツ	神奈川(45%) 愛知(32%) 千葉(18%)	神奈川県産の生育は順調。愛知県産は12月から2月の少雨の影響により小玉傾向となっており、生育は回復傾向にあるものの、4月の出荷数量は平年を下回って推移する見込み。千葉県産は天候不順の影響により歩留まりの低下が見られ、4月の出荷数量は平年を下回って推移する見込み。 全体として、4月の出荷数量は回復傾向にあるもののやや平年を下回って推移し、価格は前月から徐々に落ち着くもののやや平年を上回って推移する見込み。	前月から 徐々に落ち着くものの やや平年を上回って推移
ほうれんそう	茨城(45%) 群馬(40%)	主産県において、生育は概ね順調であり、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
ねぎ	千葉(33%) 茨城(21%) 埼玉(19%)	主産県において、12月から2月の少雨の影響により細物傾向となっており、生育は回復傾向にあるものの、4月の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
レタス	茨城(63%)	主産県において、生育は概ね順調であり、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
きゅうり	群馬(28%) 埼玉(22%) 宮崎(16%) 千葉(11%)	群馬県産・埼玉県産・千葉県産の生育は概ね順調。宮崎県産は3月の曇天、気温の乱高下の影響により生育不良がみられるものの、大幅な出荷数量の減少は見込まれない。 全体として、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
なす	高知(53%) 福岡(20%)	主産県において、3月の曇天、気温の乱高下の影響により生育不良等がみられるものの、着果の状態は良く、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
トマト	熊本(32%) 栃木(28%) 愛知(11%)	熊本県産は定植時期の高温、秋季の天候不順の影響により初期生育不良等がみられるものの、回復傾向にあり大幅な出荷数量の減少は見込まれない。栃木県産・愛知県産の生育は順調。 全体として、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移

ピーマン	茨城(49%) 宮崎(24%) 高知(11%) 鹿児島(10%)	茨城県産・鹿児島県産の生育は概ね順調。宮崎県産・高知県産は3月の曇天、気温の乱高下の影響により生育不良がみられるものの、大幅な出荷数量の減少は見込まれない。 全体として、4月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
ばれいしょ	鹿児島(62%) 北海道(27%) 長崎(12%)	北海道産は収穫及び貯蔵が完了している。計画的に出荷しているものの残量の減少により、4月の出荷数量はやや平年を下回る見込み。鹿児島県産・長崎県産は冬季の低温の影響により生育に遅れが生じているものの、気温の上昇により回復が見込まれる。 全体として、4月前半の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移し、4月後半の出荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	<4月前半> やや平年を上回って推移 <4月後半> 平年並みで推移
さといも	埼玉(66%) 千葉(12%)	主産県において、出荷が切り上がり始める。全体的に残量が少ない状況であることから、4月の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
たまねぎ	北海道(56%) 佐賀(35%)	北海道産に加え、佐賀県産の出荷が増加する。北海道産は収穫及び貯蔵が完了している。計画的に出荷しているものの残量の減少により、4月の出荷数量はやや平年を下回る見込み。佐賀県産は夏場の高温の影響による初期生育不良、冬季の低温、干ばつの影響による生育遅れが生じており、小玉傾向となっている。 全体として、4月の出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
ブロッコリー	香川(32%) 熊本(20%) 埼玉(17%) 長崎(14%)	主産県において、定植時期の低温の影響により一部作型においては生育が遅れているものの、大幅な出荷数量の減少は見込まれない。 全体として、4月の出荷数量・価格は平年並みの見込み。	平年並みで推移

注：「平年並み」とは、平年（過去5か年平均）との比率が概ね90%以上、110%以下であることを示しています。

<添付資料>

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比(PDF：90KB)

これまでの公表資料は、次のURLページで公開しております。
https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/

【お問合せ先】
農産局園芸作物課
担当者：宮嶋、栗田、島崎、渡邊
代表：03-3502-8111（内線4822）
ダイヤルイン：03-3502-5961